

# 藤田医科大学 地域共生社会推進センター

誰もが取り残されことなく、役割を持てる社会の推進

問合せ先: 地域共生社会推進センター  
c-inclusive@fujita-hu.ac.jp: 0562-93-2653センターの  
QRコード本資料の  
QRコード

## 藤田学園スローガン「その時、いちばん動ける藤田学園へ」

### 社会の緊急課題に、いち早く行動



2020年2月 クルーズ船での  
新型コロナウイルス感染症対応  
政府の要請に応じ、無症状病原体  
保有者・同行者128人を受入れ。



2024年1月 能登半島地震支援  
ドクターヘリが1月5日より災害支援活動に従事。

### 地域共生社会推進でも、課題を先取り

2025年4月 地域共生社会推進センター設置

- 役割が固定されず、誰にも役割のある社会
- 取り残されない社会、多様な人々が  
支え合い、ともに生きる地域共生社会

## 地域共生社会推進センターによる社会課題解決の主な取り組み (2025年～)

### 特定課題に対応



#### 女子学生の学びを支える環境づくり

2025年10月、大学の過半を占める女子  
学生が安心して学習を続けられるよう  
女子トイレに無料の生理用品を設置。



#### デフリンピック金メダリスト特別講義

2025年10月、看護学生に対する、聴覚  
障害による日常の不便等の講義のあと、  
「光の点灯」によるスタートランプを体験。



#### 生成AIを活用した退院時指導書の交付

2025年度～2026年度 厚生労働省老人保健健康増進等事業への採択

高齢者の個別性に即した退院時指導書を生成AIを  
活用し作成交付。2025年12月、心不全患者に実装。  
2026年度には、大学病院全体での展開を志向。

#### 患者が話しやすい看護師の身だしなみ研修 (2026年9月予定)

患者が体調や症状を伝えやすい雰囲気醸成。  
患者のアピランスケアの意義も研修。

全員が医療職を目指す医科大学。学生が触れる社会課題。

患者の医療への積極性を引き出す看護師教育と患者指導。

### 学内中心

### 学外に展開



#### “育てる・つながる・食べる”から生まれる共生の輪

2025年3月、大学隣接地に「地域共生農園」を設置。スマイルチームの  
障害者スタッフが、農薬や肥料を使わない自然栽培を実施。収穫には  
教職員・学生、地域の行政担当者、支援いただいている農家等が参加。



2026年4月には、教職員の子どもが通う学園内保育所  
「キッズコスモス」の園児が収穫に参加、  
収穫した野菜は患者の皆様への食事に活用。

参加と協力。誰もが役割を持ち、支え合う社会へ。



#### 多文化共生・子どもたちの交流

2026年2月、豊明市内のNPO法人と共催で、市内に多く暮らす  
ベトナム住民の子どもと、日本人の子ども、藤田医科大学の学生  
と一緒にサッカー大会を開催して交流。

交流を通じて進む相互理解。  
学内の課題解決を出発点に、地域社会に展開。

### 広汎な諸課題に対応